

学校教育目標

豊かな心をもち、生き生きと活動する子供を育成する

【目指す学校像】

- 安全の下、一人一人が認められ、
安心して生き生きと学べる学校
- 保護者、地域から信頼される社会に開かれた学校
- 教職員がやりがいと誇りをもって協働する学校

【目指す教師像】

- 高い倫理観を持ち、信頼と期待に応える教師
- 子供に寄り添う、人間性豊かな教師
- 自己教育力の向上を目指し研鑽する教師

よく考える

深く考え判断し、自ら学びとる子

思いやりをもって
互いに高め合う子

たすけ合う

たくましさをもち
ねばり強くやり抜く子

やりとおす

学校経営の重点

1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 学習計画や学習評価に見通しを持たせるとともに、子供の発言や疑問を生かすめあてを設定し、めあてとつながるまとめ・振り返りのある学習過程による授業改善に努めます。
- 指導者用デジタル教科書や一人1台端末を活用するとともに、個別最適な学びと協働的な学習を一体的に推進し、学習の個性化にも取り組みます。
- 生活科・総合的な学習の時間を軸とした教科等横断的な教育課程の編成により、実生活や社会との関連を意識した教育活動の質の向上を図ります。

2 積極的な生徒指導と「特別の教科 道徳」を要とする心の教育(人権教育)の充実

- 児童を行事等にできるだけ参画させ、誰でも活躍できる場を増やし、主体的な活動を通して自己肯定感や自己有用感を高められるよう、行事や委員会活動等の充実に努めます。
- 学年内での交換授業を取り入れ、子供たちをより多角的に見取りながら、互いに支え合い高め合い、気持ちよく生活できる居心地のよい集団(学級等)づくりを行います。
- 特別支援教育の視点を生かした学習指導・学級経営を推進します。

3 地域の環境を生かした教育活動の推進

- 桃ノ木川を愛する心を育む「ラブ・リバー活動」や地域人材等の外部人材を活用した教育活動を充実させ、地域と一体となった特色ある教育活動を実施します。

4 保護者や地域住民との協働による学校運営の充実

- 各種通信や学校HPで学校の情報を定期的に発信し、PTA活動や学校評議員会等を通して、家庭や地域からの学校に対する意見等も積極的に取り入れていきます。

5 教職員の職能成長

- 一人1授業を行うことにより、お互いの授業を自由に見合うことができる風土を醸成し、より質の高い授業づくりを協働して行い、各分掌の業務を通して学校運営への参画の意識を高めます。
- OJTや校内研修・自己研修を通して、日常的に教え合い、高め合う教師集団の形成に努めます。

6 勤務環境の改善

- 「教科担任制」の導入により教材研究の精選等を行い、子供と向き合う時間の確保につなげます。
- 教育相談の実施の仕方や学期末・学年末事務日の設定を工夫することにより、時間的な余裕を生み出し、子供と向き合う時間の確保につなげます。
- 働き方改革事例集等を参考に、本校にあった取組を協議し、導入実践します。